

2023 年（令和 5 年）4 月

～

2024 年（令和 6 年）3 月

論文・学会発表
業績集

山口大学大学院医学系研究科
歯科口腔外科学講座

2023年4月～2024年3月 論文

学術誌

1. Sasahara H, Kurawaki Y, Uchida K, Matsumura T, Shigeishi H, Hayashido Y, Toratani S, Iida S, Mishima K, Ohta K, Sugiyama M. Quality of life after tongue cancer treatment and its influencing factors: A cross-sectional study of Japanese patients. *Oral Sci Int.*, 1-9, 2023. doi: 10.1002/osi2.1186.
2. Shiraishi M, Mishima K, Takekawa M, Mori M, Umeda H. An acoustic simulation method of the Japanese vowels /i/ and /u/ by using the boundary element method. *Acoustics*, 5; 553-563, 2023. doi: 10.3390/acoustics5020033.
3. Umeda H, Shiraishi M, Mishima K. Long-Term Follow-Up of Hypoglossia-Hypodactylia Syndrome: A Case Report. *Cureus*, 15; e41290, 2023. doi: 10.7759/cureus.41290.
4. Uchida K, Ueyama Y, Nonaka R, Noda K, Misumi J, Mishima K. Prognostic study of sentinel lymph node biopsy in early-stage oral squamous cell carcinoma with computed tomography lymphography. *J Stomatol Oral Maxillofac Surg.*, 125; 101723, 2024. doi: 10.1016/j.jormas.2023.101723.
5. Yamakawa N, Umeda M, Yoshii Y, Mitsudo K, Noguchi M, Kusukawa J, Katakura A, Nakayama H, Sasaki M, Noguchi T, Ueda M, Bukawa H, Yagihara K, Horie A, Miyazaki A, Chikazu D, Tomihara K, Mishima K, Otsuru M, Asoda S, Fujiwara S, Ohyama Y, Kurita H, Kawamata H, Fukuda M, Shintani Y, Kobayashi T, Kanno T, Oh-Iwa I, Kawano K, Yamashita Y, Kobayashi W, Ohiro Y, Uzawa K, Ota Y, Kirita T. Multicenter retrospective study of nivolumab for recurrent/metastatic oral squamous cell carcinoma. *Oral Dis.*, 30; 247-258, 2024. doi: 10.1111/odi.14471.
6. 白石麻美, 梅田浩嗣, 野中亮, 河崎啓介, 三島克章. 山口大学医学部歯科口腔外科における口蓋形成術後の就学前言語成績 -ナゾメーター検査の有用性の検討-. *山口医学*, 73; 5-10, 2024.

7. 樋口仁, 飯島毅彦, 北畑洋, 藤澤俊明, 角南次郎, 深山治久, 三宅実, 鮎瀬卓郎, 丹羽均, 渡辺禎久, 三島克章, 吉田道弘, 宮脇卓也. 歯科患者を対象とした歯科用局所麻酔剤アルチカイン塩酸塩・アドレナリン酒石酸水素塩注射剤 (OKAD01) の臨床用量域の検討 (アルチカイン塩酸塩第II相試験). *日歯麻誌*, 52; 26-36, 2024. doi: 10.24569/jjdsa.52.1_26.

書籍

1. 三島克章 (小児内科小児外科編集委員会共編). 小児疾患診療のための病態生理 3 改訂第6版「口唇裂, 口蓋裂」. *東京医学社*, 1084-1089. 2022.
2. 肝胆膵(清水香織分担). 肝胆膵疾患と口腔ケア. *アークメディア*, 肝胆膵 88(1); 43-49. 2024.

2023年4月～2024年3月 発表

国内学会

一般公演

1. 河崎啓介, 原田耕志, 竹縄隆徳, 三島克章. 熟成ニンニク抽出液 AGE の口内炎抑制効果. 第 77 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会 2023. 5. 13 岡山.
2. 宮脇雄一郎, 堀永大樹, 梅田浩嗣, 三島克章. オトガイ偏位患者における 3D シミュレーションの有用性. 第 33 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会 2023. 6. 8 東京.
3. 河崎啓介, 原田耕志, 三島克章. 南極オキアミ由来クリルオイルの口内炎抑制効果の検討. 第 52 回 (公社) 日本口腔外科学会中国四国支部学術集会 2023. 7. 2 島根.
4. 柳井 亮二, 内 翔平, 梅田 浩嗣, 三島 克章, 木村 和博. 口唇口蓋裂に対する自家骨移植術後に急性発症したサルコイドーシスぶどう膜炎の一例. 第 51 回日本臨床免疫学会 2023. 10. 6 東京.
5. 高野遼太郎, 内田堅一郎, 中村桃子, 三島克章. 導入化学療法が奏効した口底癌と食道癌の同時性進行重複癌の 1 例. 第 70 回 NPO 法人日本口腔科学会中国・四国地方部会 2023. 10. 7 岡山.
6. 中村桃子, 高野遼太郎, 内田堅一郎, 三島克章. 急性白血病に対する寛解導入療法後に顎骨壊死を生じた 1 例. 第 70 回 NPO 法人日本口腔科学会中国・四国地方部会 2023. 10. 7 岡山.
7. 河崎啓介, 原田耕志, 三島克章. がん治療時の口内炎に対する熟成ニンニク抽出液 AGE の有効性. 第 129 回山口大学医学会学術講演会 2023. 10. 7 山口.
8. 野中亮, 内田堅一郎, 三隅純一, 三島克章. 口腔扁平上皮癌における RECQL4/AURKB の発現意義に関する臨床病理学的検討. 第 68 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2023. 11. 10 大阪.

9. 三隅純一, 内田堅一郎, 野中亮, 三島克章. 口腔扁平上皮癌における FGF19-FGFR4-KLB の発現意義に関する臨床病理学的検討. 第 68 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2023. 11. 10 大阪.
10. 藤原里依子, 戸井正樹, 藤井航, 小山茂幸, 林英子, 岡田芳幸, 三島 克章. 身体抑制経験直後の行動療法によって通法の処置が可能となった Down 症候群の 1 症例. 第 40 回日本障害者歯科学会総会および学術大会 2023. 11. 10 北海道.
11. 河崎啓介, 原田耕志, 三島克章. 口腔粘膜炎に対するシラジットの治療効果の検討. 第 68 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2023. 11. 11 大阪.

国際学会

一般公演

1. Higuchi H, Ueno T, Mishima K, Iijima T, Niwa H, Sunami J, Hoshijima H, Mizuta K, Watanabe Y, Maeda S, Nakamura S, Miyawaki T. A Phase III Clinical Trial of Articaine Hydrochloride in Japan. IADR 2024 2024. 3. 16 New Orleans.

招待講演・特別講演

1. 三島克章. MRONJ の最新の知見と歯科治療上の注意点. MRONJ の最新の知見と歯科治療上の注意点. 特別公演 2023. 5. 20 山口 山口県歯科医師会館.
2. 原田耕志. 抗がん剤の副作用による口内炎への熟成ニンニク抽出液の抑制効果. 湧永製薬 記者セミナー 2023. 8. 7 東京 帝国ホテル.
3. 原田耕志. 熟成ニンニク抽出液のポテンシャル 地域産品を用いた創薬開発と6次産業化シンポジウム～山口から世界へ～. シンポジウム 2023. 10. 13 宇部 山口大学.
4. 内田堅一郎. 口腔がんの診療～当科の現状と課題について～. 第57回山口県緩和ケア研究会. 特別公演 2023. 10. 15 光(Web開催).
5. 三島克章. 口腔機能を整理し俯瞰する. 令和5年度宇部歯科医師会学術講演会. 特別公演 2023. 10. 26 宇部 宇部歯科医師会館.
6. 原田耕志. 口腔細菌の全身への影響. 山口県栄養士会生涯教育実務研修会 教育講演 2023. 11. 5 宇部 山口大学.

2023年4月～2024年3月 新聞取材

新聞取材

1. 原田耕志. 県産農作物からがん治療薬研究 山口大学生、青パパイヤに注目. 毎日新聞 2024. 3. 16.
2. 原田耕志. 熟成ニンニク抽出液について. 産経新聞 2023. 8. 25.

◆獲得研究費◆

*** 研究代表者として獲得した研究 ***

1. 原田耕志
「がん治療時の口腔粘膜炎に対するアミノ酸併用新規支持療法の開発」、
23K09354、2023-2025、**基盤研究(C)**、3,600,000円
2. 梅田浩嗣
「血流計測をベースとした肥厚性瘢痕の定量評価システムの開発」、23K16118、
2023-2026、**若手研究**、4,030,000円